

第4回「仙台塩釜港港湾脱炭素化推進協議会」の概要

＜協議会の趣旨＞

第3回協議会での議論を踏まえ、温室効果ガス吸収量の推計、温室効果ガス削減・吸収に関する事業、港湾・臨海部の脱炭素化に貢献する事業、脱炭素化推進計画の目標達成指標（KPI）等を協議内容とする、第4回「仙台塩釜港港湾脱炭素化推進協議会」を以下のとおり開催しました。

＜概要＞

- ・日 時：令和5年8月31日（木）午前10時から午前11時30分まで
- ・場 所：仙台国際センター 会議棟2階大会議室「橘」
※対面とweb参加の併用開催
- ・出席者：学識経験者、経済団体、港湾関係者、国・関係市町（全43名）
- ・内 容：温室効果ガス吸収量の推計、温室効果ガス削減・吸収に関する事業、港湾・臨海部の脱炭素化に貢献する事業、脱炭素化推進計画の目標達成指標（KPI）等について

＜国土交通省東北地方整備局からの発言＞

- ・現在の温室効果ガス排出量は、火力発電所で使用する燃料に一定の係数を乗じた推計値となっている。この推計値について、電力を使用する側の電力量に一定の係数を乗じた推計値に見直しを行ってほしい。

【事務局の対応】

- ・第3回、第4回協議会の資料に関連する内容を、次回第5回協議会までに整理する。

＜議事概要＞

- ・「温室効果ガス吸収量」を基準年（2013年）327.8トン、現状（2019年）1,228.7トンにすることについて
- ・「温室効果ガス削減・吸収に関する事業」の記載内容について
- ・「港湾・臨海部の脱炭素化に貢献する事業」の記載内容について
- ・「脱炭素化推進計画の目標達成指標（KPI）」を以下のとおり設定することについて
年次設定 ⇒ 短期：2030年まで 中期：2040年まで 長期：2050年まで

【KPI 1（CO₂ 排出量）】

- 短期：248.8万トン／年（2013年比50%減）
- 中期：142.4万トン／年（2013年比75%減）
- 長期： 実質0トン／年（2013年比100%減）

【KPI 2（低・脱炭素化型荷役機械導入率）】

- 短期：50%、中期：75%、長期：100%

【KPI 3（ブルーインフラの保全・再生・創出）】

- 中期：吸収量123トン増（2019年比10%増）（藻場換算約25ha）
- 長期：吸収量246トン増（2019年比20%増）（藻場換算約50ha）

上記4点について審議の結果、構成員から承認を得ました。

<意見等>

- ・脱炭素化推進計画のようなバックカスティング（未来のあるべき姿から、現在にさかのぼって課題解決を考える手法）においては、お互いの情報を共有することが重要である。
- ・「物流の2024年問題（自動車運転の業務に対し、年間の時間外労働時間の上限が960時間に制限されること）」等の社会情勢の変化を活用して、削減を進める方策も考えられるのではないか。
- ・藻場の創出などの自然環境の保全是重要である。今後の海水温上昇により藻場に大きな影響が生じる場合があるため、モニタリングを適切に実施していく必要がある。
- ・KPI 1のCO2排出量は、プロジェクトの基本目標であり、この基本目標を実現するための個別施策として、KPI 2とKPI 3が位置づけされるべきである。
- ・次回の協議会で提示予定となっている脱炭素化推進計画（素案）については、事前に構成員への意見照会を実施してもらいたい。

（開催状況）

